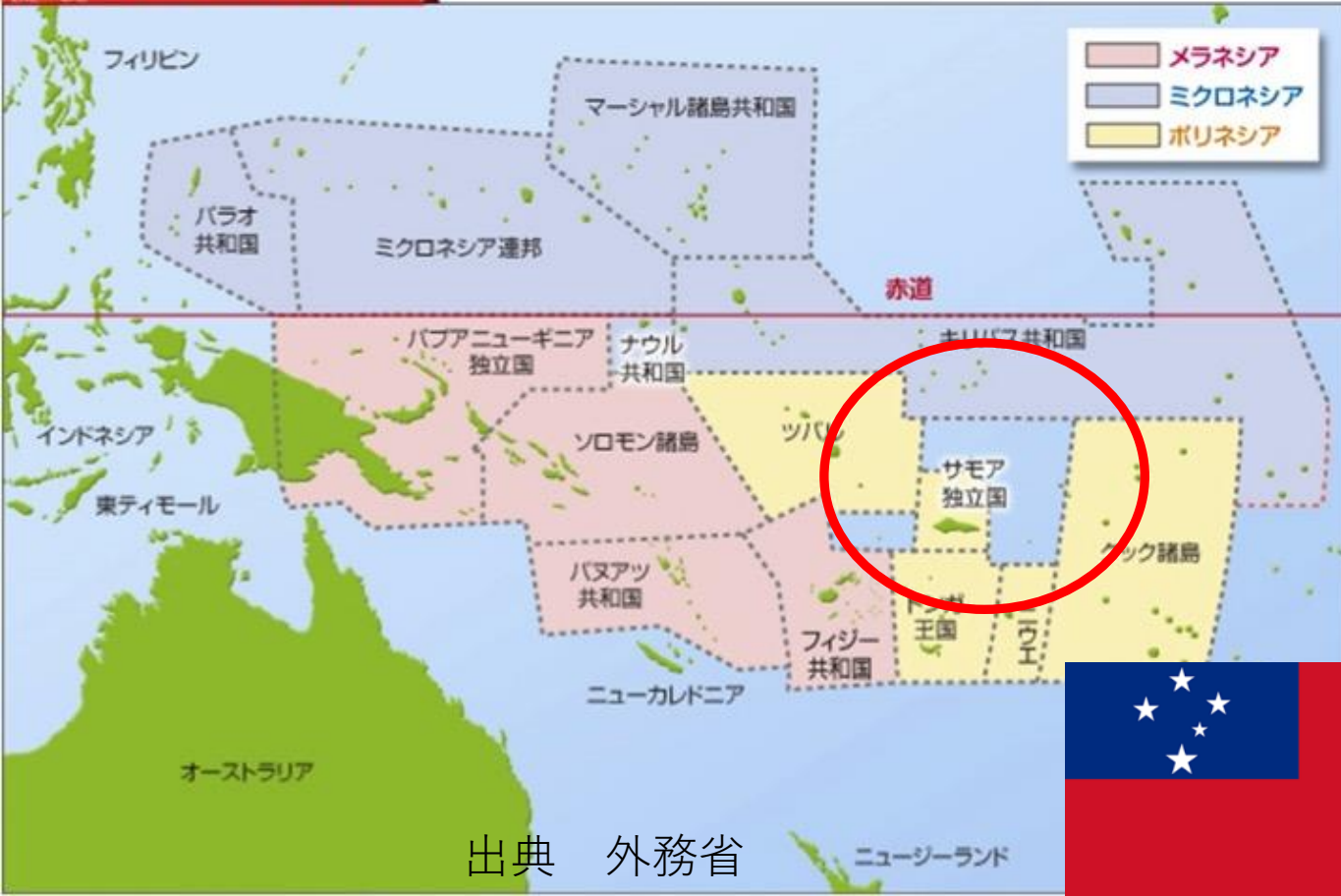


# サモアってこんな国



## 太平洋の島国・地域



出典 外務省





# サモアあるある

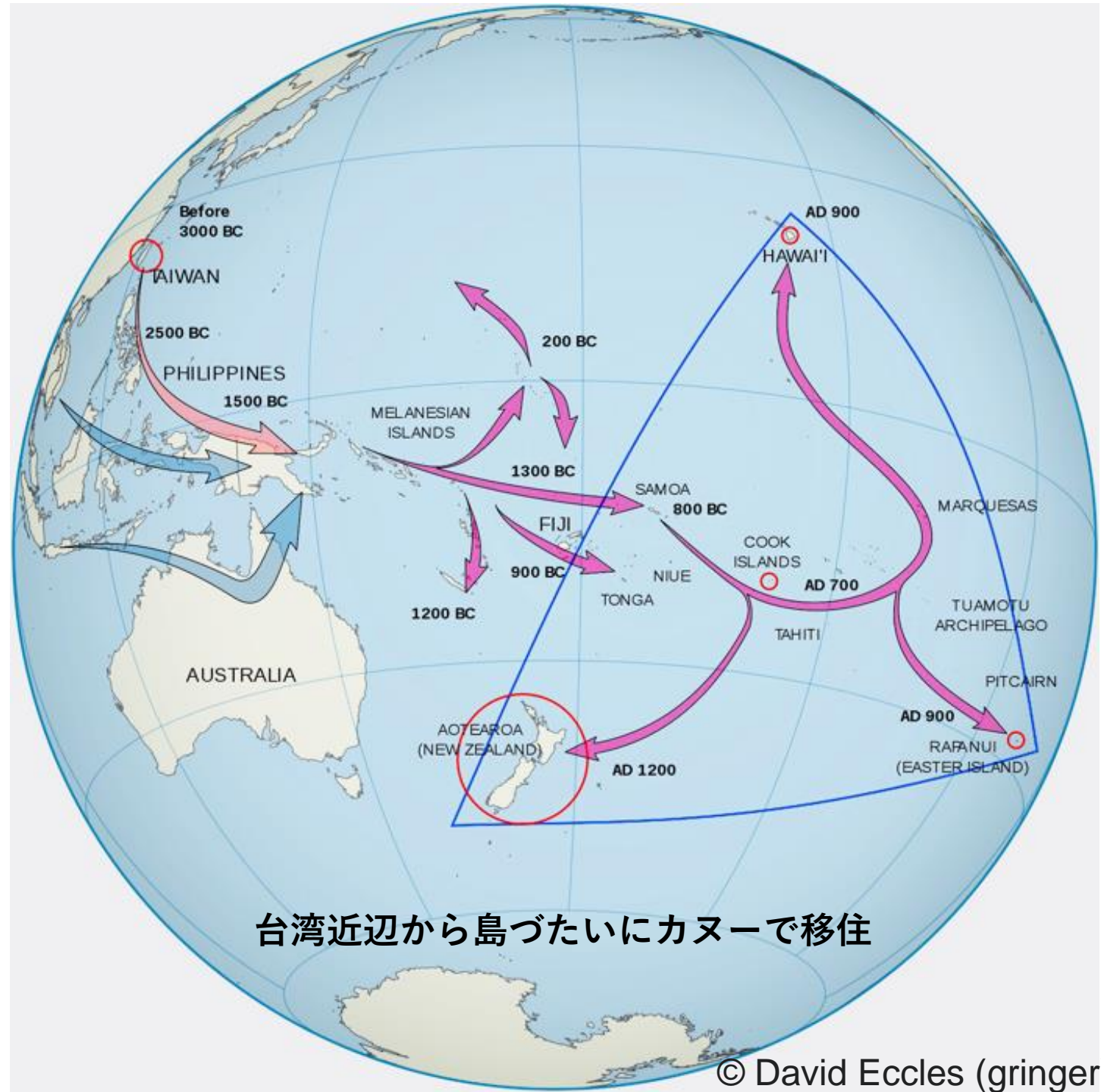
- 町の中をはだしで歩いている人、上半身はだかの男性も
- かべのない家
- 飛行機に乗るとき体重測定
- どこにでも犬と豚と鶏
- だれにでもスマイル
- 国技はラグビー



# ポリネシア人は 私たちの親戚



©神戸製鋼コベルコスティーラーズ



台湾近辺から島づたいにカヌーで移住

© David Eccles (gringer)



# サモアの食べ物

- 日曜日は昔ながらのむし焼き料理
- ブタの丸焼きは大人気
- お刺身大好き！









# サモア人の生活

- もともとごみがほとんど出ない、ごみが出ても再利用（家畜のエサや作物のひりょう）したり、土にかえるものがほとんど





# 食事や生活が変わるとごみも変わる

- 生活が変わり、輸入品やプラスチックに包まれた品物をたくさん使うように



# 日本とサモアをくらべると

## 日本 人口1億2千万人

- 家庭ごみ1日ひとりあたり  
920グラム
- うちプラスチック  
約12% = 110g
- きちんと処理されていないプラスチック約1%  
(国全体で14万トン)

## サモア 人口20万人

- 家庭ごみ1日ひとりあたり  
387グラム
- うちプラスチック  
約30% = 110g
- きちんと処理されていないプラスチック約44%  
(国全体で1,800トン)





輸入されたものが  
やがてゴミとなって  
島を汚していく





# 南の島の「GOMISUTEBA」





リサイクルって簡単じゃない

めちゃくちゃお金と手間がかかります。



出典 東京都江戸川区ホームページ



# 南の島のごみ問題

## ちらばっている小さな島

- 生活が変わってごみが増えた・変化した
- 島の中にたまり続けるごみ
- リサイクルが難しい
- 捨てる場所がない

狭い国土、増える消費、たまるゴミ





1999年

サモア政府から「ごみ」について支援の相談



## 太平洋廃棄物広域協力

# J-PRISM(ジェイ・プリズム)プロジェクト

- 集め方、捨て方を変える
- 3つのR+リターン
- 人、組織と制度づくり





# 集め方を変える

- どんなごみが捨てられているのか、どう集められているのかを調べて、悪いところをなおします。





# 捨て方を変える

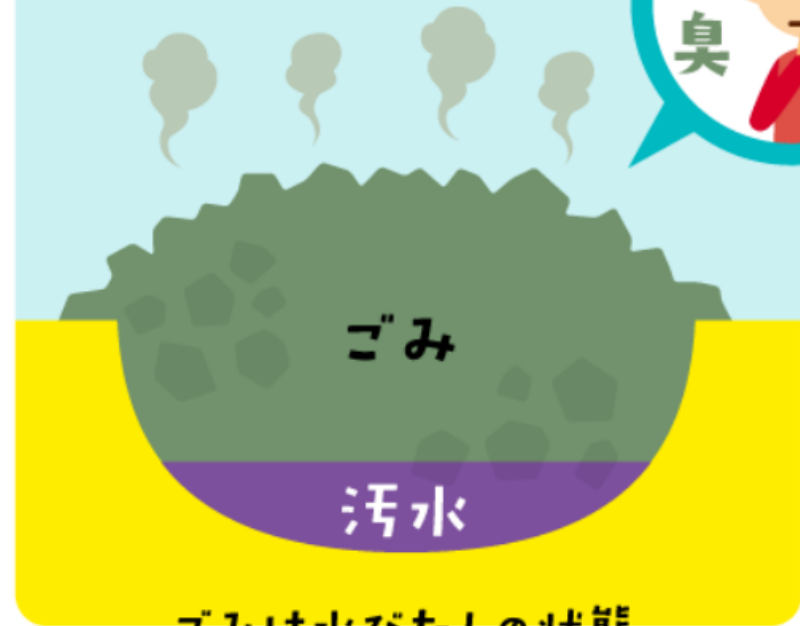
ごみが腐らず、土にもどるように

世界のごみ問題は「福岡方式」が解決している！

－福岡大学と福岡市が共同開発。福岡発のごみ埋立技術－

～昭和50年頃～

嫌気性埋立



ごみは水びたしの状態、  
悪臭・汚水が発生



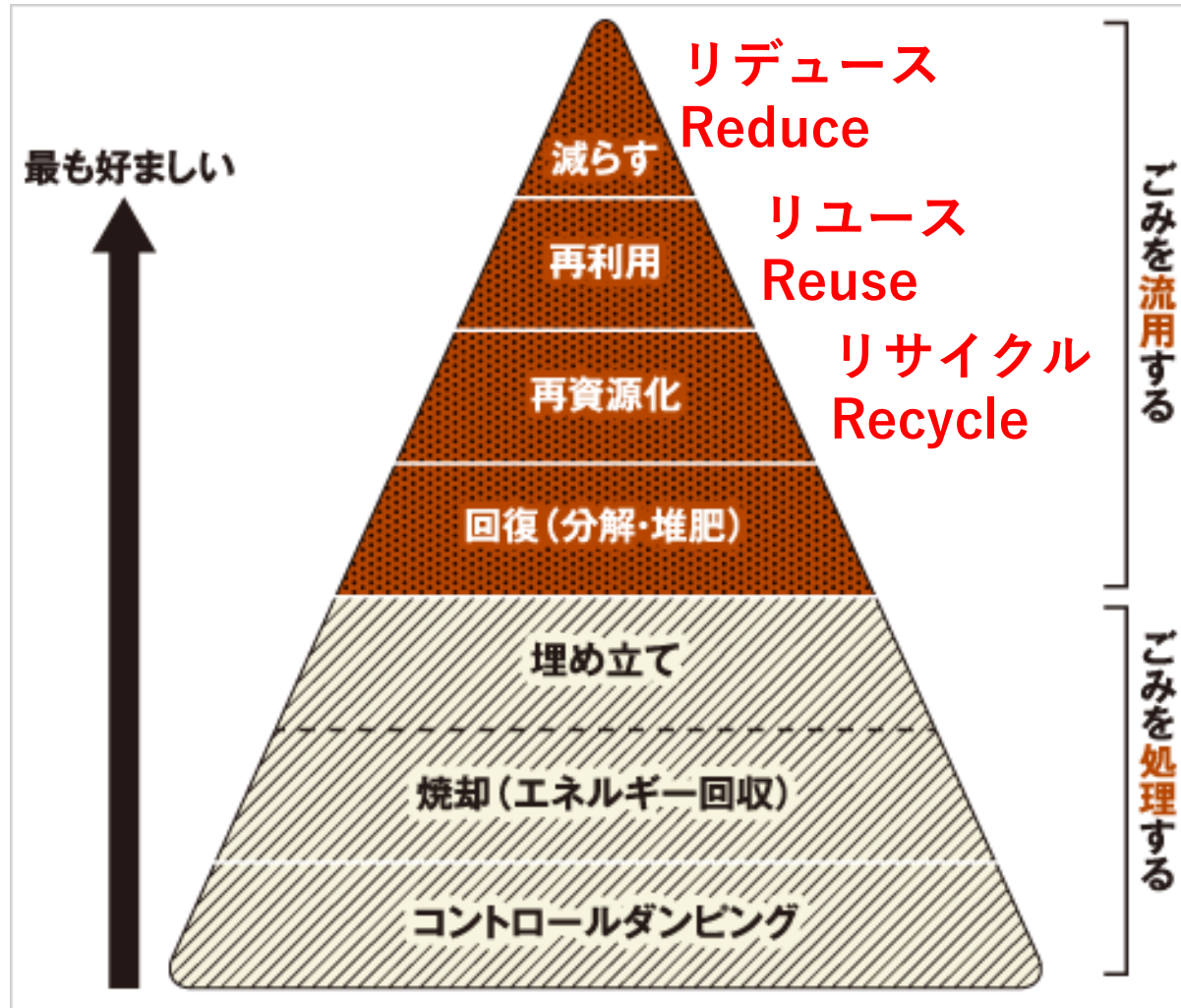
改善後  
福岡方式  
(準好気性埋立)



微生物がごみを分解、  
悪臭・汚水防止！



# 3つのR+リターン



小さくて遠く離れた島  
の場合は、3つのRに加  
えて、ごみを資源とし  
て輸出する

## リターン Return

が必要です。



# 使い捨てプラスチック

- サモアでは買い物用のポリ袋やプラスチックのストローは禁止されています。
- ペットボトルの回収とリサイクル、国外への輸出に取り組みます。
- 輸出できないプラスチックは国内での再利用に取り組みます。





南の島のごみ問題－どうすればいいの？

ごみを減らすことが一番大切！

- 余分なものは買わない
- 使い終わってもすぐに捨てずに「再利用」を考える
- きれいに洗ってリサイクルに
- ポイ捨てしない、海に捨てない

日本のみなさんも同じですよ

**日本と太平洋の島々は海でつながったおとなりどうし**